



PocketE

サーマルカメラ
ユーザーマニュアル



お問い合わせ先

安全上の指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。ご使用前に、安全情報をよくお読みください。

テクニカルサポート

<https://www.hikmicrotech.com/en/contact-us.html>ポータルは、HIKMICROのお客様がHIKMICRO製品を最大限に活用するのに役立ちます。ポータルから、サポートチーム、ソフトウェアとドキュメント、サービスの連絡先などにアクセスできます。

キャリブレーションサービス

年に一度、キャリブレーションのためにデバイスを返送することをお勧めします。メンテナンス拠点については、最寄りの販売店にお問い合わせください。より詳細なキャリブレーションサービスについては、<https://www.hikmicrotech.com/en/support/calibration-service.html>をご覧ください

電源

- ◆ 入力電圧は、IEC61010-1 規格の限定電源 (DC3.85V、570mA) を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- ◆ プラグが適切に電源ソケットに接続されていることを確認してください。
- ◆ 1台の電源アダプターに2台以上の機器を接続してはなりません。過負荷によって過熱したり、火災発生の危険があります。
- ◆ 正規メーカーより供給された電源アダプターを使用してください。電源の詳細な要件については、製品仕様を参照してください。

バッテリー

- ◆ 注意: バッテリーを不正な種別のものと交換すると爆発の危険があります。同一または同等のタイプのものとのみ交換してください。バッテリーのメーカーによって提供された指示に準拠して、使用済みバッテリーを処分してください。
- ◆ 不正な種別のバッテリーとの不適切な交換は、安全装置を無効にする場合があります (たとえば、一部のリチウムバッテリータイプの場合など)。

- ◆ バッテリーを火や高温のオーブンの中に投入したり、バッテリーを機械的に粉砕したり切断したりしないでください。爆発の原因となることがあります。
- ◆ バッテリーを非常に高温の環境に放置しないでください。爆発や、可燃性の液体およびガスの漏出を引き起こす可能性があります。
- ◆ バッテリーを極端に低い空気圧下に置かないでください。爆発したり、可燃性の液体やガスが漏出する恐れがあります。
- ◆ バッテリーのメーカーによって提供された指示に準拠して、使用済みバッテリーを処分してください。
- ◆ 内蔵バッテリーは取り外しできません。修理については必要に応じてメーカーにお問い合わせください。
- ◆ バッテリーを長期保存する場合は、半年に一度はフル充電して、バッテリーの品質を保つようにしてください。これを怠った場合、破損の原因となります。
- ◆ 認定メーカーのバッテリーをご使用ください。バッテリーの詳細な要件については、製品仕様を参照してください。
- ◆ 暖房器具や火気の近くにバッテリーを置かないでください。直射日光を避けてください。
- ◆ 化学熱傷の恐れがありますので、絶対にバッテリーを飲み込まないでください。
- ◆ お子様の手の届くところにバッテリーを置かないでください。
- ◆ デバイスの電源がオフで、RTC バッテリーが満充電されている状態では、時間設定は6ヶ月間保持できます。
- ◆ 初回使用時は、電源オフの状態ですら2.5時間以上充電してください。
- ◆ リチウムバッテリーの電圧は3.85V、バッテリー容量は2100mAhです。
- ◆ バッテリーはUL2054によって認定されています。

メンテナンス

- ◆ 製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。承認されていない修理や保守行為による問題について、当社はいかなる責任も負いません。
- ◆ 必要ならば、エタノールを少量含ませたきれいな布でデバイスを静かに拭きます。
- ◆ メーカーが指定していない方法で使用した場合、デバイスが提供する保護機能が損なわれる恐れがあります。




- ◆ USB 3.0 PowerShare ポートの電流の制限は、PC ブランドによって異なる場合があります、非互換性の問題が発生する可能性があることに注意してください。したがって、USB デバイスが PC の USB 3.0 PowerShare ポート上で認識されない場合は、通常の USB 3.0 または USB 2.0 ポートを使用することをお勧めします。

使用環境

- ◆ 実行環境がデバイスの要件を満たしていることを確認します。動作温度は-10°C~50°C (14°F~122°F)で、動作湿度は 95%以下です。
- ◆ デバイスは、乾燥して換気の良い環境に配置してください。
- ◆ デバイスを強い電磁波や埃の多い環境にさらさないでください。
- ◆ レンズを太陽や極端に明るい場所に向けないでください。
- ◆ レーザー装置を使用している場合は、デバイスのレンズがレーザービームにさらされていないことを確認してください。焼損するおそれがあります。
- ◆ レンズを太陽や極端に明るい場所に向けないでください。
- ◆ このデバイスは屋内および屋外での使用に適していますが、濡らさないようにご利用ください。
- ◆ 汚染度は 2 です。

記号の定義

本書で使用されている記号は以下のように定義されます。

記号の	説明
 危険	回避しないと、死亡または重傷を招く可能性のある危険な状況を示します。
 注意	潜在的に危険となりうる状況を表しており、防止できなかった場合、機器の損傷、データの消失、性能劣化など、予測不能な結果が生じる可能性があります。
 注意	本文中の重要点を強調したりそれを補う追加情報を提供します。

法規と規則

- ◆ 製品の使用にあたって、お住まいの地域の電気安全性に関する法令を厳密に遵守する必要があります。

輸送

- ◆ 輸送中は、デバイスを元のパッケージまたは類似したパッケージに梱包してください。
- ◆ 開梱後は、後日使用できるように、梱包材を保存しておいてください。不具合が発生した場合、元の梱包材を使用して工場に機器を返送する必要があります。元の梱包材を使用せずに返送した場合、破損が発生する恐れがありますが、その際に、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 製品を落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。本器を電磁妨害から遠ざけてください。

緊急

デバイスから煙や異臭、異音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。

メーカー住所

310052 中国浙江省杭州市滨江区西興地区段鳳通り399号2棟ユニットB 313号室

Hangzhou Microimage Software Co., Ltd.

法令順守通知

本サーマルシリーズ製品は、アメリカ合衆国、欧州連合、英国などワッセナー・アレンジメントの会員国を含むがそれだけに限定されない各国・各地域で、輸出管理の対象となる可能性があります。サーマルシリーズ製品を外国へ転送・輸出・再輸出する場合は、貴社の法務・コンプライアンス部門もしくは自国の政府機関に、輸出ライセンスの条件についてご確認ください。

目次

第 1 章 概要	1
1.1 ユーザー向けの重要な通知	1
1.2 デバイスの説明	1
1.3 主な機能.....	1
1.4 外観.....	3
第 2 章 準備	5
2.1 デバイスの充電	5
2.2 電源オン/オフ	5
2.2.1 自動電源オフ時間の設定	6
2.3 操作方式	6
2.4 メニューと操作	6
第 3 章 表示設定	9
3.1 画面輝度の設定	9
3.2 画像表示モードの設定	9
3.2.1 視差補正の設定.....	10
3.3 パレットの設定	10
3.4 レベルとスパンの調整.....	11
3.4.1 色分布	12
3.5 デジタルズームの調整.....	13
3.6 オンスクリーン情報を表示する.....	13
第 4 章 温度測定	14
4.1 温度測定パラメータの設定	14

4.1.1 単位の設定	14
4.2 測定ツールの設定.....	15
4.3 温度アラーム設定.....	15
第 5 章 写真と動画	17
5.1 画像キャプチャー.....	17
5.2 ビデオ録画	18
5.3 アルバムの管理	19
5.4 録画されたファイルの表示	20
5.5 ファイルの管理	21
5.6 ファイルのエクスポート	22
5.6.1 HIKMICRO Viewer経由でエクスポート	22
5.6.2 PCを介してエクスポート	23
第 6 章 デバイス接続.....	24
6.1 デバイスのスクリーンをPCにキャスト.....	24
6.2 デバイスをWi-Fiに接続する	24
6.3 デバイスホットスポットを設定して接続します.....	25
第 7 章 モバイルクライアント接続	27
7.1 Wi-Fiで接続	27
7.2 ホットスポット経由の接続.....	28
第 8 章 メンテナンス.....	29
8.1 デバイス情報を表示.....	29
8.2 日付と時刻の設定.....	29
8.3 デバイスのアップグレード	29
8.4 デバイスの復元	30

8.5 操作ログを保存	30
8.6 ストレージの初期化.....	30
8.7 キャリブレーションについて	30
第 9 章 FAQ	31

第1章 概要

1.1 ユーザー向けの重要な通知

このマニュアルでは、複数のカメラモデルの機能について説明します。同じシリーズでもカメラモデルによって機能が異なるため、このマニュアルにはお使いのカメラモデルに当てはまらない記述や説明が含まれている場合があります。

あるシリーズのすべてのカメラモデルが、このマニュアルに記載されている（または記載されていない）モバイルアプリケーション、ソフトウェア、およびそれらのすべての機能をサポートしているわけではありません。より詳細な情報についてはアプリケーションおよびソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

このマニュアルは定期的に更新されます。そのため、このマニュアルには、最新のファームウェア、モバイルクライアント、およびソフトウェアの新機能に関する情報が含まれていない可能性があります。

1.2 デバイスの説明

ポケットサーマルカメラは、ビジュアル画像とサーマル画像の両方に対応するカメラです。温度を測定し、ビデオを録画し、スナップショットを撮影し、アラームをトリガーすることができます。

Wi-Fi/ホットスポット機能により、携帯電話のアプリと連携できます。

このカメラは使いやすく、人間工学に基づいた設計を採用しています。建物の検査や空調設備はもちろん、電気・機械設備のメンテナンスにも幅広く利用されています。

1.3 主な機能

温度測定

カメラはリアルタイムで温度を検出し、画面に表示します。

フュージョン

熱画像とビジュアル画像を融合して表示することができます。

パレット

カメラは、さまざまなターゲットやユーザーの好みに合わせて複数のカラーパレットをサポートしています。

アラーム

カメラは温度アラームをサポートしています。

SuperIR

カメラは**SuperIR**をサポートし、オブジェクトのアウトラインを強調します。

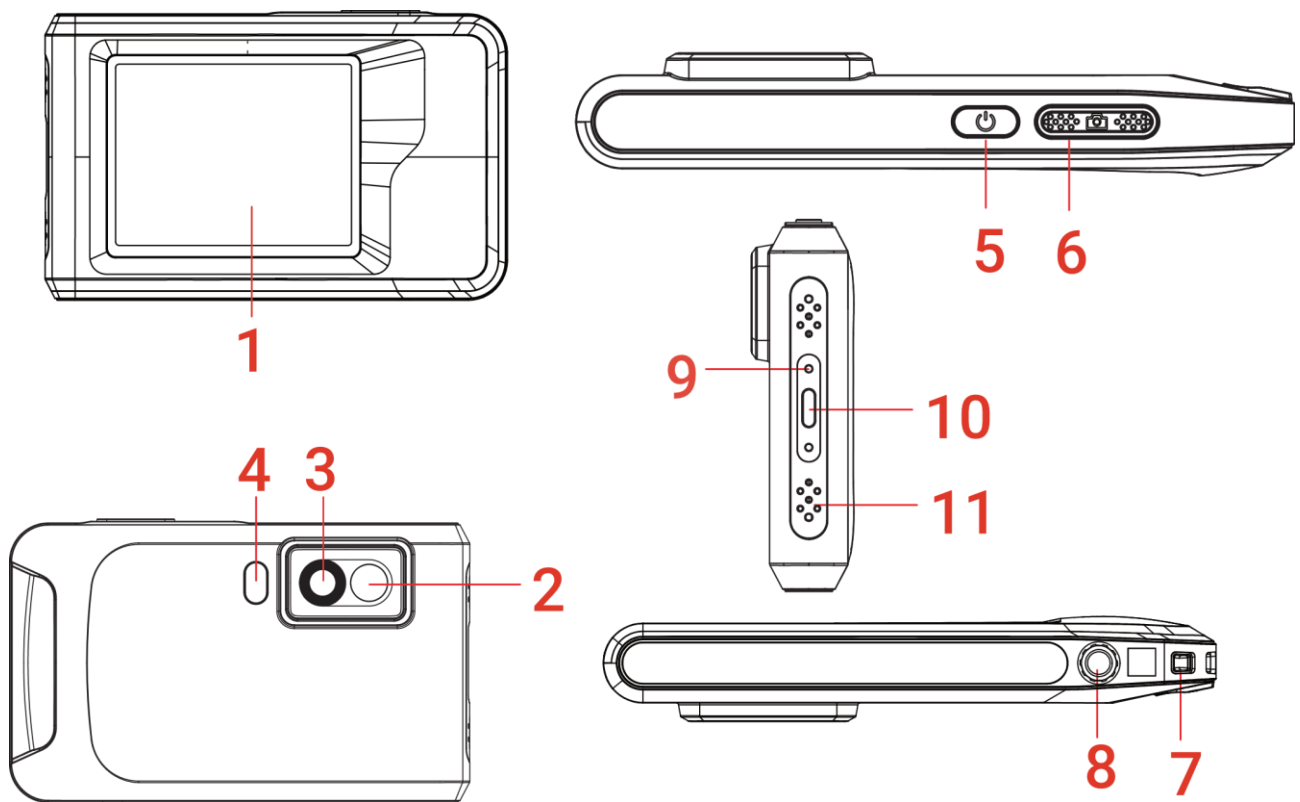
クライアントソフトウェアの接続



QRコードをスキャンして
HIKMICRO Viewerアプリをダウンロードし、ライブビュー、スナップショット撮影、動画撮影などを行います。

ファイルを分析するには、HIKMICRO Analyzer (<https://www.hikmicrotech.com/en/industrial-products/hikmicro-analyzer-software.html>) をダウンロードしてください。

1.4 外観



番号	説明	機能
1	タッチコントロール スクリーン	タッチコントロールで画像を表示したり、デバイスを操作できます。
2	ビジュアルレンズ	ビジュアル画像を表示します。
3	サーマルレンズ	サーマル画像を表示します。
4	フラッシュライト	対象物を照らし、点滅アラームを出力します。
5	電源キー	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 長押し：デバイスの電源オン/オフ。 ◆ 短押し：手動スリープ/デバイスを起動します。
6	キャプチャーキー	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 押すと画像をキャプチャーします。 ◆ 長押しすると動画の撮影が始まり、もう一度押すと停止します。
7	ストラップ取付ポイント	リストストラップを装着します。

番号	説明	機能
8	三脚マウント	三脚を取り付けます。
9	充電インジケータ	デバイスの充電状態を表示します。 ◆ 赤で点灯：正常に充電 ◆ 赤で点滅：充電に異常あり ◆ 緑で点灯：満充電
10	Type-C インターフェイス	付属の USB ケーブルで、デバイスを充電したり、ファイルをエクスポートすることができます。
11	マイク	音声録音。

**注意**

本カメラは、画質と測定精度を最適化するために、定期的に自己キャリブレーションを実行します。このプロセスで、画像が短時間静止し、検知器の前でシャッターが動く際に「カチッ」という音が聞こえます。デバイスのキャリブレーション中は、画面の上部中央に「キャリブレーション中・・・」というプロンプトが表示されます。起動中や、非常に低温または高温の環境では、自己キャリブレーションがより頻繁に実行されます。これは、カメラの最適な性能を確保するための正常な動作です。

第2章 準備

2.1 デバイスの充電

カメラにはバッテリーが内蔵されています。付属のUSBケーブルとカメラのType-Cインターフェイスを使用してカメラを充電することをお勧めします。他のメーカーのUSB-C to USB-Cケーブルは使用しないでください。電源アダプター（別売り）は次の規格を満たす必要があります。

- ◆ 出力電圧/電流：5 VDC/2 A
- ◆ 最小電源出力：10 W

電源インジケータの充電状態を確認します。

- ◆ 赤で点灯：正常に充電
- ◆ 赤で点滅：充電に異常あり
- ◆ 緑で点灯：満充電



注意

- ◆ カメラを長期間使用せずに過放電した場合は、電源をオンにする前に少なくとも30分間充電することをお勧めします。
- ◆ 充電とデータ転送には、パッケージに付属のUSBケーブルを使用することをお勧めします。

2.2 電源オン/オフ

電源オン


⏻を3秒以上長押しして、デバイスの電源を入れます。デバイスのインターフェイスが安定すると、目標を観察できます。




注意

- ◆ 電源を入れてからデバイスを使用できるようになるまで、6秒以上かかる場合があります。

電源オフ

デバイスの電源がオンの時、を約3秒間長押しするとデバイスの電源がオフになります。

2.2.1 自動電源オフ時間の設定

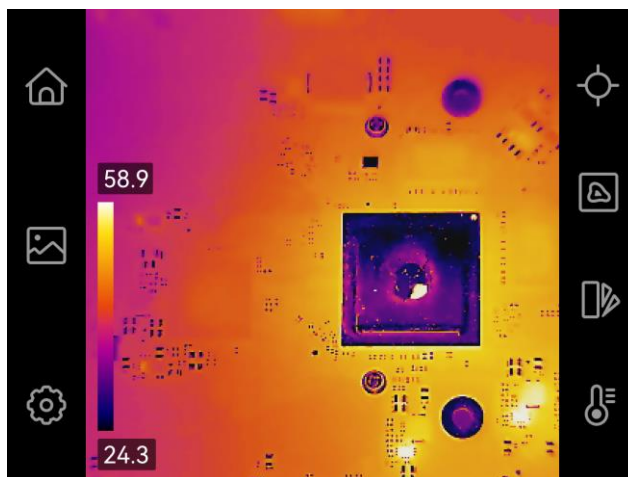
を選択し、デバイス設定 > 自動電源オフを開き、必要に応じてデバイス自動シャットダウン時間を設定します。

2.3 操作方式

このデバイスは、タッチスクリーン操作に対応しています。画面をタップしてデバイスを操作できます。

2.4 メニューと操作

ライブビュー



アイコン

説明



ライブビューインターフェイスに戻ります。



アルバムで、撮影した画像や動画を見ることができます。手順については [5.3 アルバムの管理](#)を参照してください。



デバイスのローカル設定を調整します。



測定ツールのオン/オフを切り替えます。手順については **4.2 測定ツールの設定** を参照してください。



画像モードをサーマル、ビジュアル、フュージョンなどから切り換えます。手順については **3.2 画像表示モードの設定** を参照してください。



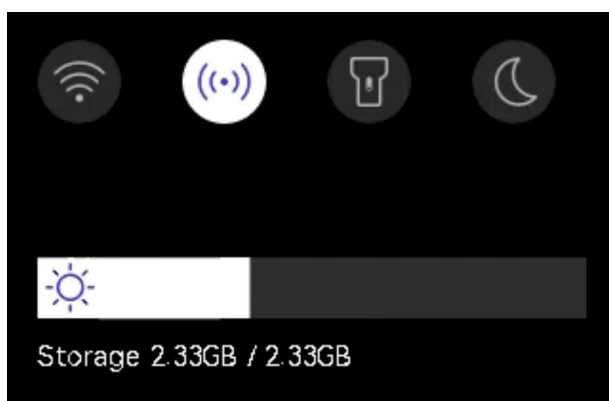
熱画像のカラーパレットを切り替えます。手順については **3.3 パレットの設定** を参照してください。



サーマル画像表示用のレベルとスパンを調整します。手順については **3.4 レベルとスパンの調整** を参照してください。

スワイプダウンメニュー

ライブビューインターフェイスで、画面の上部から下にスワイプしてスワイプダウンメニューを呼び出します。このメニューでは、デバイス機能のオン/オフの切り替え、表示テーマの変更、画面の輝度の調整ができます。



アイコン

説明



Wi-Fi をオン/オフします。Wi-Fi 設定の手順については、**6.2 デバイスを Wi-Fi に接続する** を参照してください。



ホットスポットをオン/オフします。ホットスポット設定の手順については、**6.3 デバイスホットスポットを設定して接続します**を参照してください。



LED ライトをオン/オフします。



昼と夜のテーマの切り替えがサポートされています。




画面輝度を調整

第3章 表示設定


3.1 画面輝度の設定

ローカル設定 > デバイス設定 > 画面の輝度を開き、画面の輝度を調整します。

または、をタップし、ドラッグしてスワイプダウンメニューから画面の輝度を調整します。

3.2 画像表示モードの設定

デバイスのサーマル/ビジュアルビューを設定できます。サーマル、フュージョン、PIP、ブレンディング、およびビジュアルが選択可能です。

1. をタップします。
2. アイコンをタップして、画像モードを選択します。

画像モード	説明	例
 サーマル	サーマルモードでは、デバイスはサーマルビューを表示します。	
 フュージョン	対象物のサーマル画像に輪郭を付ける。ライブビューで視差補正を調整して、画像のアライメントを改善します。	
 PIP	PIP（ピクチャインピクチャ）モードでは、デバイスは可視光ビュー内にサーマルビューを表示します。PIPのサイズ、視差補正、デジタルズームを調整することができます。	

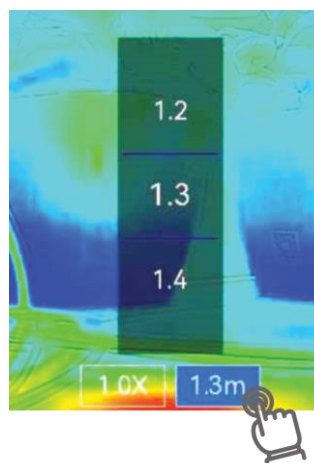
画像モード	説明	例
 ブレンディング	<p>ブレンディングモードでは、デバイスはサーマルチャンネルとビジュアルチャンネルを混合したビューを表示します。ビジュアルとサーマルの比率を変更するには、ビジュアルとサーマルのレベルを選択します。</p>	
 ビジュアル	<p>対象物のビジュアル画像のみ。</p>	

3. 画面をタップして終了します。

3.2.1 視差補正の設定


サーマルとビジュアルの画像のアライメントを改善するには、画像モードをフュージョン、**PIP**、またはブレンディングに設定した後で視差補正を設定する必要があります。

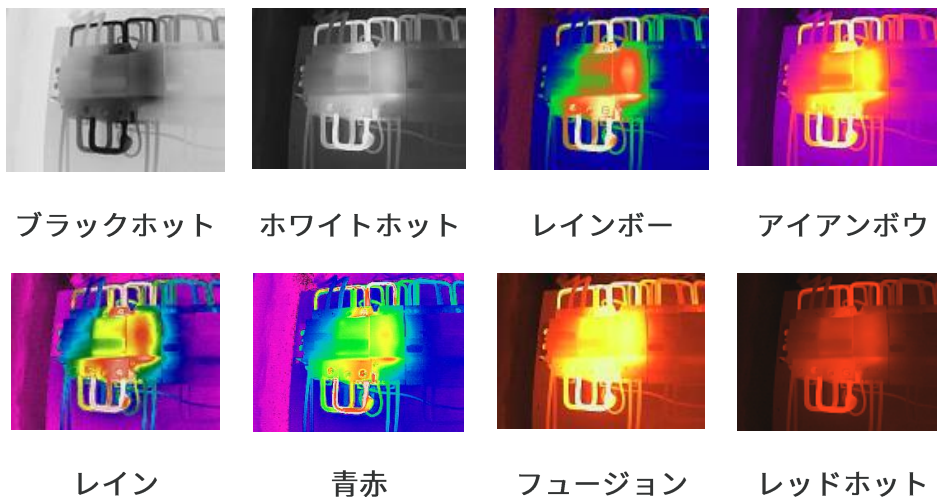
画面をタップして調整インターフェイスを表示し、視差補正 (xx m) を選択し、値ホイールをスクロールして値を設定します。



3.3 パレットの設定

パレットを使用すると、任意の色を選択できます。




1.  をタップします。
2. アイコンをタップして、パレットタイプを選択します。





3. 画面をタップして終了します。

3.4 レベルとスパンの調整

表示温度範囲を設定すると、パレットは範囲内のターゲットに対してのみ機能するようになります。表示温度範囲は調整することができます。

1.  をタップします。
2. 自動調整  または手動調整  を選択します。

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  自動 | デバイスは、表示温度範囲パラメーターを自動的に調整します。 |
|  手動 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 画面上のエリアタップする。領域の周囲に円が表示されます。領域の詳細情報ができる限り多く表示されるように、表示温度範囲が再調整されます。 2) 画面で値をタップすると、値をロックまたはアンロックできます。 3) 画面の調整ホイールをスクロールし、最大温度と最低温度を微調整します。 4) OK をタップして終了します。 |

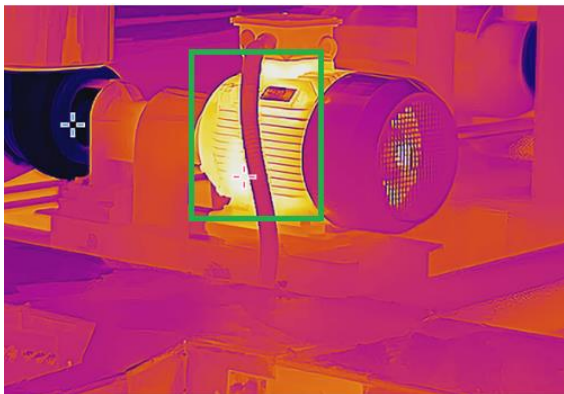
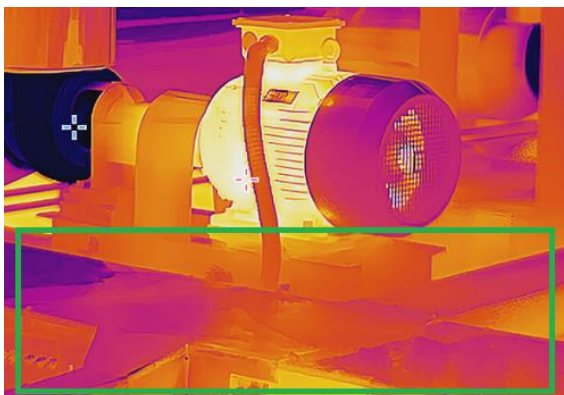
3. 戻るをタップして終了します。

3.4.1 色分布

色分布機能により、自動レベルとスパンでさまざまな画像表示効果が得られます。さまざまなアプリケーションシーンに合わせて、リニアおよびヒストグラムの色分布モードを選択できます。

1. ローカル設定 > 温度測定設定 > 色分布に移動します。

2. 色分布のモードを選択します。

モード	説明	例
リニア	リニアモードは、低温の背景で小さな高温のターゲットを検出する場合に使用します。リニア色分布では、高温のターゲットが強調され、より詳細に表示されるため、ケーブルコネクタなどの小さな高温欠陥領域を確認するのに適しています。	
ヒストグラム	ヒストグラムモードは、広い領域内の温度分布の検出に使用されます。ヒストグラム色分布では、高温のターゲットが強調され、領域内の低温オブジェクトの詳細も保持されるため、亀裂などの小さな低温ターゲットを発見するのに適しています。	

3. くをタップして保存し、終了します。




注意

この機能は自動レベルとスパンでのみサポートされます。

3.5 デジタルズームの調整

1. ライブビューインターフェースをタップして、デジタルズームフレームを呼び出します。
2. デジタルズームフレームをタップします。
3. 必要に応じてデジタルズーム値を選択します。
4. 画面をタップして保存し、終了します。

3.6 オンスクリーン情報を表示する

をタップしてローカル設定 > 表示設定に移動し、オンスクリーン情報の表示のオン/オフを切り替えます。


- ◆ 時刻と日付：デバイスの時刻と日付です。
- ◆ パラメーター：目標の放射率などの温度測定パラメーターです。
- ◆ ブランドロゴ：ブランドロゴは画像上にメーカーロゴを重ね合わせたものです。

第4章 温度測定

温度測定機能は、シーンの温度をリアルタイムに提供し、画面の左側に表示します。

4.1 温度測定パラメータの設定


測定パラメータを設定して、測定精度を向上させることができます。温度を測定する前に、放射率と距離を設定してください。

1. をタップし、ローカル設定 > 温度測定設定に移動します。
2. 温度範囲、放射率などを設定します。
 - ◆ 温度範囲：温度測定範囲を選択します。自動切替モードでは、デバイスは温度を検出し、サーモグラフィ範囲を自動的に切り替えることができます。
 - ◆ 放射率：ターゲットに応じて放射率を設定します。カスタマイズすることも、推奨値を選択することもできます。
 - ◆ 反射温度：反射温度。シーン内に高温の物体（目標外）があり、目標の放射率が低い場合は、反射温度を高温に設定してサーモグラフィ効果を補正します。
 - ◆ 距離：目標とデバイス間の直線距離です。目標距離をカスタマイズするか、目標距離を以下から選択できます：近、中、または遠。
 - ◆ 湿度：現在の環境の相対湿度を設定します。
3. <をタップして保存し、終了します。







ローカル設定 > デバイス設定 > デバイス初期化 > すべての測定ツールを削除に移動して、温度測定パラメーターを初期化することができます。

4.1.1 単位の設定

をタップしてローカル設定 > 表示設定 > 単位に移動し、温度単位と距離単位を設定します。

4.2 測定ツールの設定

現在のシーンの最低温度、最高温度、中心温度を測定する測定ツールを設定することができます。


1.  をタップします。
2. 必要に応じて、タップして温度測定ツールを選択します。最大 、最小 、センター  が選択可能です。
3. 画面をタップして保存し、終了します。



画面左上には、最低温度、最高温度、中心温度が表示されます。削除するには、ツールをもう一度タップします。


4.3 温度アラーム設定

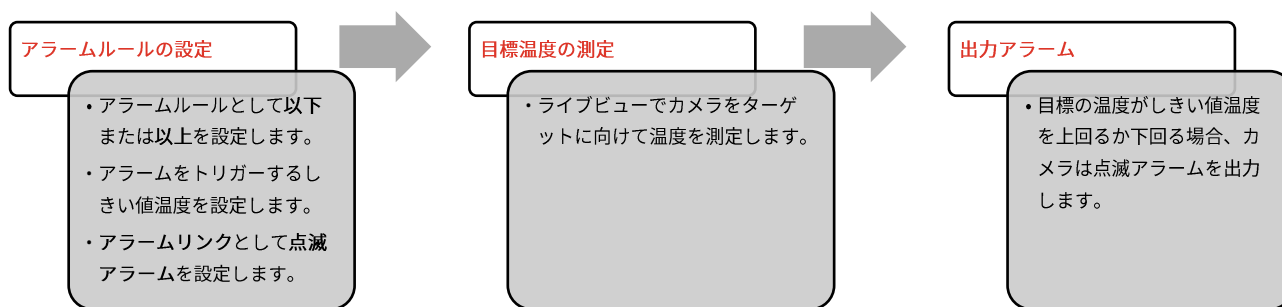
ターゲットの温度によって、設定したアラームルールが起動すると、デバイスは、LEDライトの点滅など、設定されたアクションを実行します。

1.  をタップしてローカル設定 > 温度測定設定 > アラーム設定に移動します。
2. 温度アラームを有効にし、アラームパラメータを設定します。

アラームしきい値 チェックされた温度がこのしきい値を超えると、デバイスはクライアントソフトウェアにアラーム通知を送信します。点滅アラームが有効になっている場合、フラッシュライトが点滅しません。

アラームリンク 点滅アラーム：ターゲットの温度がアラームのしきい値を超えると、懐中電灯が点滅します。

3.  をタップして保存し、終了します。
4. アラーム機能を使用するには、次の手順に従ってください。



第5章 写真と動画



- ◆ デバイスにメニューが表示されている間のキャプチャーまたは録画はサポートされていません。
- ◆ デバイスが PC に接続されている間のキャプチャーまたは録画はサポートされていません。
- ◆ をタップしてローカル設定 > 撮影設定 > ファイル名のヘッダーに移動し、撮影または録画用のファイル名ヘッダーを設定すると、別々のシーンで記録されたファイルを区別することができます。
- ◆ をタップしてローカル設定 > デバイス設定 > デバイスの初期化に移動し、必要に応じてストレージを初期化します。

5.1 画像キャプチャー

ライブビューで を押すと、スナップショットが撮影されます。暗い場所でスワイプダウンメニューからフラッシュライトを有効にすることができます。

必要に応じて、ローカル設定 > 撮影設定で、次のパラメーターを設定できます。

パラメータ	説明
キャプチャモード	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 1枚の画像を撮影： を1回押すと、1枚の画像が撮影されます。 ◆ スケジュールキャプチャー：スケジュールキャプチャーの間隔（取得される各スナップショットの時間間隔）と数（1つのロールで取得されるスナップショットの数、1～10,000の範囲）を設定します。ライブビューで を押すと、カメラは設定された間隔で設定された数の画像を撮影します。 を再度押すと、撮影が停止します。
ファイル名ヘッダー	保存したファイルの命名ルールを設定します。デフォルトの画像の命名方法は、ファイル名ヘッダー + 保存時刻です。ファイル名


パラメータ	説明
	ヘッダーは設定可能です。保存時刻は、保存が実行されたときのシステム時刻です。
SuperIR	撮影する前に SuperIR を有効にして、撮影した画像上のオブジェクトのアウトラインを強調します。
ファイル命名	ファイルには、タイムスタンプまたは番号付け（ファイル名のヘッダー + シーケンス番号）に基づいて名前を付けることができます。
ビジュアル画像の保存	ビジュアル画像を個別に保存したい場合は、 ビジュアル画像の保存 を有効にして、 ビジュアル画像の解像度 を設定します。



注意

- ◆ 1枚の画像を撮影の場合、ライブ画像はフリーズし、デフォルトの保存アルバムに保存されます。
- ◆ スケジュールキャプチャーの場合、ライブビューにカウンターが表示され、完了した撮影の枚数が示されます。

次にすべきこと


- ◆  をタップしてアルバムに移動し、ファイルとアルバムを表示および管理します。操作手順については、**5.3 アルバムの管理**と**5.5 ファイルの管理**を参照してください。
- ◆ 本器を PC に接続して、ローカルファイルをアルバムにエクスポートすると、その他の用途に使用することができます。**5.6 ファイルのエクスポート**を参照してください。

5.2 ビデオ録画

始める前に









暗い場所でスワイプダウンメニューからフラッシュライトを有効にすることができます。







1. ライブビューインターフェイスでキャプチャーキーをホールドすると録画が開始されます。録画アイコンとカウントダウンがインターフェイスに表示されます。

2. 終了するには、を押して録画を停止します。録画されたビデオは自動的に保存されます。
3. オプション: ローカル設定 > 撮影設定に移動して、MP4 (.mp4) および放射測定ビデオ (.hrv) からビデオの種類を選択できます。


5.3 アルバムの管理

記録された画像/ビデオファイルはアルバムに保存されます。新しいアルバムの作成、アルバムの名前の変更、デフォルトアルバムの変更、アルバム間でのファイルの移動、およびアルバムの削除を行うことができます。



タスク	操作
新規アルバムの作成	<ol style="list-style-type: none">1) をタップしてアルバムに移動します。2) をタップして新規アルバムを追加します。3) ソフトキーボードが表示されますので、画面をタッチしてアルバムの名前を入力してください。4) をタップして終了します。
<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> 注意 新しく作成されたアルバムはデフォルトの保存先アルバムになり、アルバムリストの一番上に表示されます。</div>	
アルバムの名前変更	<ol style="list-style-type: none">1) をタップしてアルバムに移動します。2) 名前を変更するアルバムを選択します。3) をタップして名前を変更を選択します。ソフトキーボードが表示されます。4) をタップして古い名前を削除し、画面をタッチしてアルバムの新しい名前を入力します。5) をタップして終了します。

タスク	操作
デフォルトの保存アルバムの変更	<ol style="list-style-type: none"> 1) をタップしてアルバムに移動します。 2) デフォルトの保存先アルバムとして使用するアルバムを選択します。 3) をタップし、デフォルトの保存先アルバムとして設定を選択します。 <div data-bbox="574 660 1428 739" style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p> 注意 デフォルトの保存先アルバムはアルバムリストの一番上に表示されます。</p> </div>
アルバムの削除	<ol style="list-style-type: none"> 1) をタップしてアルバムに移動します。 2) 削除したいビデオを選択してください。 3) をタップして削除を選択します。インターフェイス上にプロンプトボックスが表示されます。 4) OK をタップしてアルバムを削除します。 <div data-bbox="574 1086 1428 1243" style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p> 注意 アルバムを削除すると、アルバム内のファイルも削除されます。必要なファイルは、他のアルバムに移動してください。手順については 5.5 ファイルの管理を参照してください。</p> </div>

5.4 録画されたファイルの表示

1. を押すとアルバムに移動します。
2. タップしてファイルが保存されているアルバムを選択します。
3. タップして表示するビデオまたはスナップショットを選択します。
4. 選択したファイルと関連情報が表示されます。







注意








- ◆ ファイルは時間順に並べ替えられます。一番新しいファイルが上に来ます。直近のスナップショットやビデオが見つからない場合、デバイスの日時設定を確認してください。手順については **8.2 日付と時刻の設定**を参照してください。ファイルを表示している時に、 または  をタップすると、他のファイルに切り替えることができます。

◆ キャプチャーしたスナップショットまたはビデオに含まれる詳細については、ソフトウェアをインストールすることで分析できます。



5.5 ファイルの管理

ファイルを移動、削除、編集したり、ファイルにメモを追加することができます。

タスク	操作
ファイルの削除	<ol style="list-style-type: none">1)  をタップしてアルバムに移動します。2) タップして削除するファイルが保存されているアルバムを選択します。3) アルバム内でタップして、削除するファイルを表示します。4) 画面をタップして下のメニューバーを表示して、 をタップします。インターフェイス上にプロンプトボックスが表示されます。5) OK をタップしてファイルを削除します。
複数ファイルの削除	<ol style="list-style-type: none">1)  をタップしてアルバムに移動します。2) タップして削除するファイルが保存されているアルバムを選択します。3) アルバム内で  をタップして、削除するファイルを選択します。4)  をタップします。インターフェイス上にプロンプトボックスが表示されます。5) OK をタップしてファイルを削除します。
ファイルの移動	<ol style="list-style-type: none">1)  をタップしてアルバムに移動します。2) タップして移動するファイルが保存されているアルバムを選択します。3) アルバム内でタップして、移動するファイルを表示します。

タスク	操作
	4) ファイルをタップして下のメニューバーを表示して、  を選択します。アルバムリストが表示されます。 5) タップして移動先のアルバムを選択します。
複数ファイルの移動	1)  をタップしてアルバムに移動します。 2) タップして移動するファイルが保存されているアルバムを選択します。 3) アルバム内で  をタップして、移動するファイルを選択します。 4)  をタップします。アルバムリストが表示されます。 5) タップして移動先のアルバムを選択します。
ファイルへのテキストメモ追加	1)  をタップしてアルバムに移動します。 2) タップして編集するファイルが保存されているアルバムを選択します。 3) アルバム内でタップして、編集するファイルを表示します。 4) 画面をタップして下のメニューバーを表示して、  をタップします。ソフトキーボードが表示されます。 5) 画面をタッチしてテキストメモを入力します。 6)  をタップして終了します。 次にすべきこと 編集した写真を開いて、テキストメモを表示できます。

 注意

をタップするとすべてのファイルが選択されます。をタップすると、選択がキャンセルされます。

5.6 ファイルのエクスポート

5.6.1 HIKMICRO Viewer経由でエクスポート

1. HIKMICRO Viewer を起動し、デバイスを追加します。第 6 章 デバイス接続を参照してください。
2. アプリのデバイス上のファイルを選択して、デバイス上のアルバムにアクセスします。
3. ファイルを選択し、ダウンロードをタップしてローカルのアルバムに保存します。

5.6.2 PCを介してエクスポート

1. 付属の USB ケーブルを使用してデバイスを PC に接続し、デバイス上のプロンプトで USB モードとして **USB ドライブモード** を選択します。**USB ドライブモード** では、スクリーンキャストはサポートされていません。
2. 検出されたディスクを開き、動画またはスナップショットをコピーして PC に貼り付けて、ファイルを表示します。
3. PC からデバイスを取り外します。

**注意**

初回接続時にドライバーが自動的にインストールされます。

第6章 デバイス接続

6.1 デバイスのスクリーンをPCにキャスト

本デバイスは、UVCプロトコルベースのクライアントソフトウェアまたはプレイヤーによるPCへのスクリーンキャストに対応しています。付属の USB ケーブルを介してデバイスをPCに接続すると、デバイスのリアルタイムライブビューをPCにキャストできます。

1. UVC プロトコルベースのクライアントソフトウェアを公式 Web サイトからダウンロードします。


<https://www.hikmicrotech.com/en/industrial-products/uvc-client/>

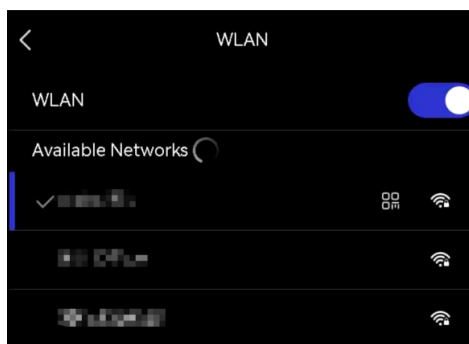
2. 付属の USB ケーブルを使用してデバイスを PC に接続し、デバイス上のプロンプトで USB モードとして **USB** キャスト画面を選択します。**USB** キャスト画面モードでは、USB 接続を介した PC へのファイルのエクスポートはサポートされていません。
3. PC で UVC アラームクライアントを開きます。

次にすべきこと

画面をキャストする方法の詳細については、当社の Web サイト (<https://www.hikmicrotech.com>) を参照してください。


6.2 デバイスをWi-Fiに接続する

1. ローカル設定 > 接続 > **WLAN** を開きます。
2.  をタップして Wi-Fi を有効にすると、検知された Wi-Fi がリストされます。



3. 接続する Wi-Fi を選択します。ソフトキーボードが表示されます。
4. 画面をタッチしてパスワードを入力します。

注意

- ◆ パスワードでスペースをタップしないでください。パスワードが正しく入力されない可能性があります。
- ◆  をタップして、パスワードフィールドにパスワードを入力してください。


5.  をタップして保存し、Wi-Fi に接続します。

結果


接続が完了すると、メインインターフェイス上にWi-Fiアイコンが表示されます。

6.3 デバイスホットスポットを設定して接続します

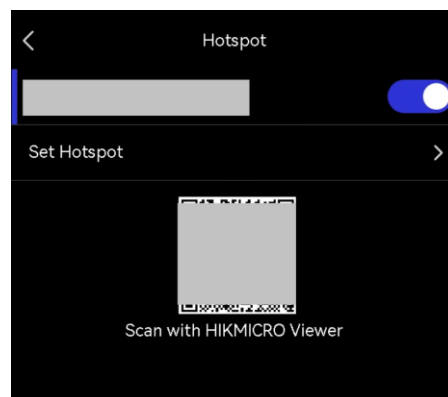
デバイスのホットスポットが設定されている場合、Wi-Fi機能を有する他の機器を接続して、データが送信できます。

1. ローカル設定 > 接続 > ホットスポットを開きます。
2.  をタップしてホットスポット機能を有効にします。ホットスポット名は、デバイスのシリアル番号の末尾9桁です。
3. デバイスのホットスポットを設定し、携帯電話に接続します。


◆ ホットスポットパスワードの使用：

- 1) ホットスポットの設定をタップします。ソフトキーボードが表示されます。
- 2) 画面をタッチして、ホットスポットにパスワードを設定します。
- 3)  をタップして終了します。
- 4) 他の機器で Wi-Fi 機能を有効にし、接続先の機器のホットスポットを検索します。

- ◆ **ホットスポット QR コードの使用：**HIKMICRO Viewer で QR コードをスキャンすると、ホットスポットに接続できます。



 **注意**

- ◆ パスワードでスペースをタップしないでください。パスワードが正しく入力されない可能性があります。
- ◆ パスワードは8桁以上で、数字と文字が含まれている必要があります。
- ◆  をタップして、パスワードフィールドにパスワードを入力してください。

4.  をタップして保存します。


第7章 モバイルクライアント接続

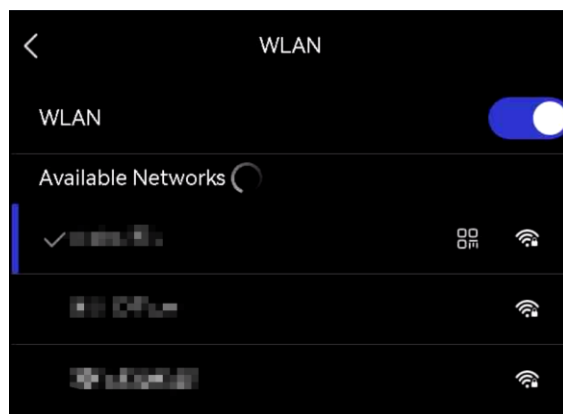
このデバイスは、Wi-Fi接続とホットスポットの両方をサポートしています。デバイスをHIKMICRO Viewerに接続すると、モバイルクライアントを介してデバイスを制御できます。

7.1 Wi-Fiで接続

始める前に

お使いのスマートフォンにHIKMICRO Viewerをダウンロードしてインストールします。

1. お使いのデバイスを Wi-Fi ネットワークに接続してください。手順については **6.2** デバイスを **Wi-Fi** に接続するを参照してください。
2. デバイスをアプリに追加します。
 - ◆ Wi-Fi パスワードの使用。
 - 1) 同じ Wi-Fi ネットワークに接続するには、携帯電話にパスワードを入力します。
 - 2) アプリを起動し、スタートアップウィザードにしたがってアカウントを作成し、登録します。
 - 3) デバイスを検索し、アプリに追加します。
 - ◆ Wi-Fi QR コードのスキャン。
 - 1) デバイス上の接続された Wi-Fi の横にある  をタップして、Wi-Fi QR コードを表示します。
 - 2) 携帯電話のアプリを起動し、スキャンして同じ Wi-Fi に接続し、デバイスを追加します。



7.2 ホットスポット経由の接続

始める前に

お使いのスマートフォンにHIKMICRO Viewerをダウンロードしてインストールします。

1. デバイスのホットスポットをオンにし、ホットスポットの設定を完了します。手順については **6.3 デバイスホットスポットを設定して接続します**を参照してください。
2. スマートフォンをデバイスのホットスポットに接続します。
3. アプリを起動し、スタートアップウィザードにしたがってアカウントを作成し、登録します。
4. デバイスを検索し、モバイルクライアントに追加します。



注意

モバイルアプリケーションにカメラを追加する詳細な手順については、アプリケーションに組み込まれているユーザーマニュアルを参照してください。

第8章 メンテナンス

8.1 デバイス情報を表示

ローカル設定 > デバイス設定 > デバイス情報を開き、デバイス情報を表示します。

8.2 日付と時刻の設定

1. ローカル設定 > デバイス設定 > 時刻と日付を開きます。
2. 日付と時刻を設定します。
3. <を押して、保存して終了します。



ローカル設定 > デバイス設定 > 表示設定を開き、時刻と日付のオン/オフを切り替えます。

8.3 デバイスのアップグレード

始める前に

公式サイト<http://www.hikmicrotech.com>からアップグレードファイルをダウンロードしてください。もしくは、まずカスタマーサービスとテクニカルサポートに連絡してアップグレードファイルを手入してください。

1. 付属のUSBケーブルを使用してデバイスをPCに接続し、デバイス上のプロンプトでUSBモードとして**USB**ドライブを選択します。
2. アップグレードファイルを解凍してデバイスのルートディレクトリにコピーします。
3. PCからデバイスを取り外します。
4. デバイスを再起動すると、自動的にアップグレードされます。アップグレードのプロセスがメインインターフェイスに表示されます。



アップグレード後、デバイスは自動的に再起動します。現在のバージョンは、ローカル設定 > デバイス設定 > デバイス情報で確認できます。

8.4 デバイスの復元

デバイス設定 > デバイスの初期化 > デバイスの復元を開き、デバイスを初期化し、デフォルト設定を復元します。

8.5 操作ログを保存

デバイスは、トラブルシューティングの目的でのみ、操作ログを収集し、ストレージに保存できます。この機能は、ローカル設定 > デバイス設定 > ログを保存でオン/オフを切り替えることができます。

付属のUSBケーブルを使用してカメラをPCに接続し、必要に応じてカメラのUSBモードとして**USBドライブ**を選択して、カメラのルートディレクトリに操作ログ（.logファイル）をエクスポートできます。

8.6 ストレージの初期化

デバイス設定 > デバイスの初期化 > ストレージのフォーマットを開き、ストレージを初期化します。



注意

ストレージにファイルが入っている場合は、フォーマットの前に、ファイルがバックアップされていることを確認してください。一旦ストレージが初期化されると、データとファイルは復元できません。

8.7 キャリブレーションについて

年に一度、キャリブレーションのためにデバイスを返送することをお勧めします。メンテナンス拠点については、最寄りの販売店にお問い合わせください。より詳細なキャリブレーションサービスについては、<https://www.hikmicrotech.com/en/support/calibration-service.html>をご覧ください

第9章 FAQ

以下のQRコードをスキャンすると、デバイスの一般的なFAQを取得できます。



法的情報

本デバイスを使用する前に、本書のすべての情報および使用方法をよくお読みになり、将来の参照用に保管してください。

デバイスの詳細な情報および使用方法については、当社のウェブサイト (<http://www.hikmicrotech.com>) をご覧ください。また、デバイスに付属の他の文書（ある場合）を参照して、詳細な情報を見ることができます。


本マニュアルについて

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されることがあります。このマニュアルの最新版は、HIKMICRO Webサイト (<http://www.hikmicrotech.com>) でご確認ください。

本マニュアルは、本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導・支援を受けた上でご使用ください。

©Hangzhou Microimage Software Co., Ltd. 禁・無断複製。

商標

 **HIKMICRO** およびその他のHIKMICROの商標とロゴは、様々な裁判管轄地域におけるHIKMICROの所有物です。

言及されているその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

免責事項

適用法で認められる最大限の範囲で、本マニュアルおよび説明されている製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、[現状のまま]および[すべての欠陥とエラーがある]状態で提供されます。HIKMICROでは、明示あるいは黙示を問わず、商品性、満足な品質、または特定目的に対する適合性などを一切保証しません。本製品は、お客様

の自己責任においてご利用ください。HIKMICROは、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データの損失、システムの障害、文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、それが契約に対する違反、不法行為(過失を含む)、製品の責任または製品の使用に関連するものであっても、たとえHIKMICROがそうした損害および損失について通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

お客様は、インターネットにはその性質上固有のセキュリティリスクがあることを了解し、異常動作、プライバシーの流出、またはサイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウィルス感染等のインターネットセキュリティリスクによる損害について、HIKMICROは一切責任を負いません。ただし、必要に応じてHIKMICROは適時技術的サポートを提供します。

お客様には、すべての適用法に従って本製品を利用し、さらにご自分の利用法が適用法を順守していることを確認する責任があります。特に、肖像権、知的財産権、またはデータ保護等のプライバシー権を非限定的に含むサードパーティの権利を侵害しない手段で本製品を利用する責任があります。大量破壊兵器の開発や生産、化学兵器・生物兵器の開発や生産、核爆発物や危険な核燃料サイクル、または人権侵害に資する活動を含む、禁じられている最終用途の目的で本製品を使用してはなりません。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

規制情報

これらの条項は、対応するマークまたは情報が付された製品にのみ適用されます。

EU 適合宣言



本製品および付属のアクセサリ（該当する場合）は「CE」マークが付いていますが、これは指令2014/30/EU (EMCD)、指令2014/35/EU (LVD)、指令2011/65/EU (RoHS) にリストされた該当欧州統一規格に準拠していることを示しています。

Hangzhou Microimage Software Co., Ltd.では、本デバイス（ラベルを参照）が指令2014/53/EUに適合していることをここに宣言します。

EU適合宣言書の全文は、以下のインターネットアドレスから入手いただくことができます：

<https://www.hikmicrotech.com/en/support/download-center/declaration-of-conformity/>

周波数帯および電力（CE用）

以下の無線装置に適用される周波数帯域、モード、通信出力（放射および/または伝導）の公称値の許容範囲は次のとおりです。

Wi-Fi：2.4 GHz (2.4 GHz～2.4835 GHz)：20dBm

付属の電源アダプターがない場合は、デバイスに認定メーカーが供給する電源アダプターをご使用ください。電源の詳細な要件については、製品仕様を参照してください。

付属のバッテリーがない場合は、デバイスに認定メーカーが供給するバッテリーをご使用ください。バッテリーの詳細な要件については、製品仕様を参照してください。



指令2012/19/EU (WEEE 指令) : この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については以下を参照してください : www.recyclethis.info



指令2006/66/ECおよびその修正案2013/56/EU (バッテリー指令) : 本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については以下を参照してください : www.recyclethis.info



See the World in a New Way